

カンボジア国道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト プロジェクトニュース (2015年7月)

道路性状簡易評価システム (DRIMS)

道路性状を簡易に測定可能な調査機材である DRIMS は、さまざまな国で実施されている JICA の道路維持管理プロジェクトにおいて適用されている。DRIMS 利用者からの要望および意見を基に、DRIMS は開発者である東京大学の橋梁構造研究室により継続的に機能更新されている。かかる背景の下、カンボジア国において効率的かつ効果的に最新の DRIMS を導入することを目的として、東京大学よりチャオ氏が派遣された。滞在期間中、チャオ氏は、本プロジェクトのカウンターパートを対象として、以下のテーマについて講義を行った (図1参照)。

1. DRIMS 概要
2. DRIMS の操作性、および DRIMS データとドライブレコーダーデータとの連動性向上 (図2参照)
3. iDRIMS の開発状況 (スマートフォン型 DRIMS) (図3および図4参照)
4. 最新 DRIMS ソフトウェアのインストールガイダンス
- 5.カンボジアにおける DRIMS の実施セミナー



図1: チャオ氏による 講義の様子

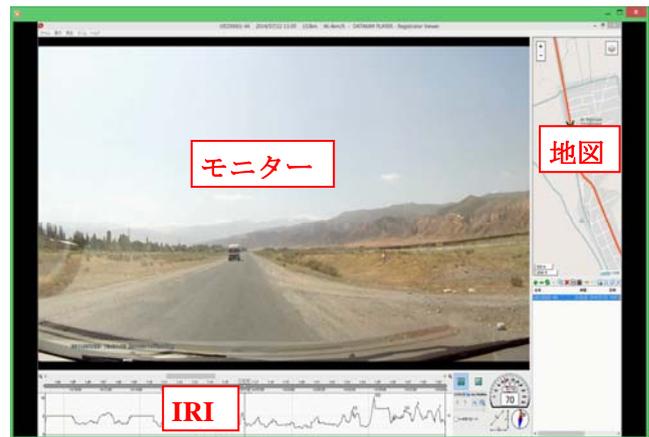


図2: ドライブレコーダー データへの IRI 表示

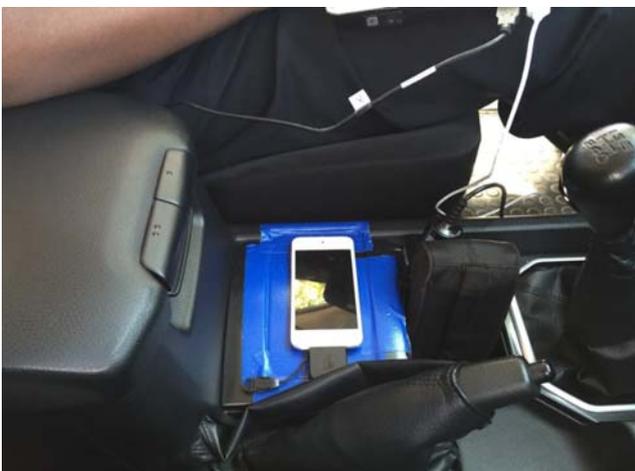


図3: iDRIMS (スマートフォン型)

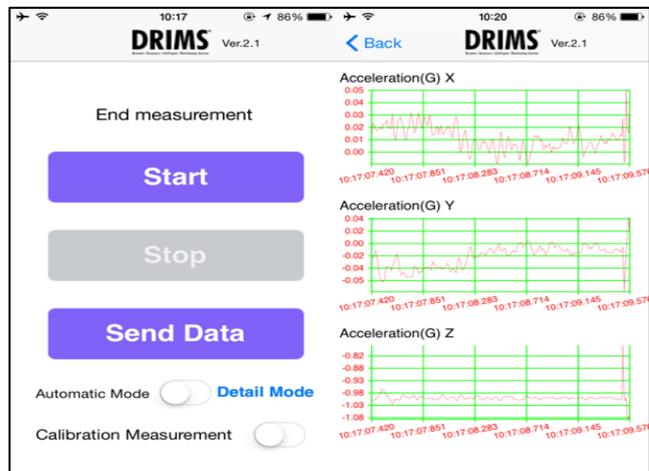


図4: iDRIMS (スマートフォン画面)